

文化経済戦略特別チームについて

平成 29 年 3 月 1 日
文 化 庁1. チームの位置付け

- 現在、政府においては、
 - ① 2020 年以後の外国人観光客リピーターの増加や、文化資源の魅力創造・発信による地域活性化・ブランド力向上等を目指した、観光・産業・まちづくり・福祉・外交等様々な関連分野との連携強化により文化の力を最大限活用する政策の調整、
 - ② 2020 年東京大会の文化の祭典である文化プログラムの的確かつ着実な実施とその機運醸成、が求められている。

- このため、これまでの文化庁における文化振興にとどまらず、オリパラをはじめ、まち・ひと・しごとや観光など、内閣官房や各府省等が行う文化関連施策を横断的に取り扱い統合強化した上で、経済拡大戦略のためのプランを策定していくことが必要となっている。
こうした総合的な企画調整を進めていくためには、内閣官房の協力を得ながら、文化庁の枠組みを越える相応の体制を整える必要があり、関係府省庁の職員が参集したチームをつくることとした。

- チームの職員は、内閣官房副長官補付となり、平田内閣官房参与及び宮田文化庁長官のもとで、文化庁内で業務を遂行する（本年 3 月 1 日発足）。

2. チームの主な業務

- (1)「稼ぐ」文化への展開、(2)文化プログラムの推進、(3)上野「文化の杜」新構想、等のプランの策定。